

利益相反マネジメントに係る
「自己申告書(大学発ベンチャー企業等に係る学生の雇用)」について

1. 趣旨

学生が大学発ベンチャーの業務に携わることは、学生の見識(研究成果の社会還元等)を深める等の有益な効果があると考えられます。しかし、一方で大学発ベンチャー企業等に関与する教員の研究室に所属する学生が当該ベンチャー企業等と雇用関係にある場合、教員が個人的な利益の追求のために教員と学生の立場を利用して学生を労務につかせているのではないかなどの疑念を社会から持たれる可能性が考えられます。また、相互の理解不足などからハラスメントの問題等に発展することが懸念されます。

本学では大学発ベンチャー企業等に係る学生の雇用に関係した利益相反による疑念やトラブルの発生を未然に防止するため、全学的な利益相反マネジメントの一環として本自己申告書の提出をお願いしています。

なお、本自己申告書は、「国立大学法人神戸大学職員兼業規程」の第4条「営利企業の役員兼業として許可することができる」に例示の(1)技術移転兼業、(2)研究成果活用兼業、(3)監査役等兼業、及び(4)産学連携役員兼業に関与の可能性のある教職員対象者に開示・提出をお願いするものです。

2. 自己申告書の構成

利益相反マネジメントに関する自己申告書(大学発ベンチャー企業等に係る学生の雇用)は、以下のNo.1、及びNo.2 ①～③の計4文書から構成されています。

なお、この自己申告書における「学生」とは、原則として大学院生を指します。

◇No.1

「利益相反に関する自己申告書(大学発ベンチャー企業等に係る学生の雇用)」

利益相反マネジメントの対象となる大学発ベンチャー企業等への関与の有無、及びその企業においてご自身が教育指導する学生の雇用関係の有無についてのお尋ね

大学発ベンチャー企業等への関与、学生の雇用関係がなければ No.1 のみで終了です。

◇No.2-①

「利益相反に関する自己申告書(大学発ベンチャー企業等に係る学生の雇用)」

【ベンチャー企業等概要】:

ご自身と大学発ベンチャー企業等の関与の内容等についてのお尋ね

◇No.2-②

「利益相反に関する自己申告書(大学発ベンチャー企業等に係る学生の雇用)」

【確認事項:教職員用】:

大学発ベンチャー企業等に係る学生の雇用に関係した利益相反による疑念やトラブルの発生を未然に防止するための学生への説明等の確認

◇No.2-③

「利益相反に関する自己申告書(大学発ベンチャー企業等に係る学生の雇用)」

【確認事項:学生用】:

教員から説明を受け、雇用が学生本人の自由意志に基づくことの学生の確認

No.1: 利益相反に関する自己申告書(大学発ベンチャー企業等に係る学生の雇用)

◆質問1

以下の定義にある大学発ベンチャー企業等への関与はありますか？

- (1) 自己(3親等以内の親族を含む。)が発起人になる, 出資を行う, 役員や顧問等の役職に就き, その設立に深く関与する会社等
- (2) 自己(生計を一にする者を含む。)の発明等(発明, 意匠, 著作物, ノウハウ, 成果有体物等)やその他の研究成果をもとに起業した会社等

無(ご自身が関与する大学発ベンチャー企業等はない): 終了(◆質問2への回答不要)

有(ご自身が関与する大学発ベンチャー企業等がある): ◆質問2へ

◆質問2

「ご自身が関与する大学発ベンチャー企業等」と「ご自身が教育指導する研究室の学生」との間に雇用関係がありますか？

雇用関係にない: 終了(No.2-①以降への回答不要)

雇用関係にある: No.2-①を記載してください。

◆質問1及び◆質問2で終了の方は, 本用紙にご署名の上, 部局担当者までご提出ください。

◆質問2で「雇用関係にある」と回答された方は, 本用紙にご署名の上, 引き続いて回答いただくNo.2-①～③とあわせて部局担当者までご提出ください。

令和 年 月 日

所属・職名: _____

教員署名: _____

No.2-①: 利益相反に関する自己申告書(大学発ベンチャー企業等に係る学生の雇用)
【ベンチャー企業等概要】

◆質問

「ご自身が関与する大学発ベンチャー企業等」に関して、以下の1～3にご回答ください。

1. ご自身が関与する大学発ベンチャー企業等の名称

2. 当該大学発ベンチャー企業等におけるご自身の役割(3親等以内の親族を含む。)

(例: 出資者, 取締役や技術顧問, 移転する成果の発明者など)

3. 当該大学発ベンチャー企業等からの個人的利益(3親等以内の親族を含む。)について

以下の該当する項目のすべてにチェックし、下線部につき記入してください。

(1) 株式等エクイティを保有し対価又は権利を得ている。

(保有状況: _____ 株、前年度からの 増減、変化なし)

(2) 兼業を行い、報酬を得ている。(R3 年度年間報酬額: _____ 円)

(3) 発明等(考案, 意匠, 著作物, ノウハウ, 成果有体物等)の研究成果の移転による対価を得ている, あるいは得る可能性がある。

(4) その他の何らかの利益等を取得している, あるいは取得する可能性がある。

本用紙ご署名の上,

・「No.2-②: 利益相反に関する自己申告書(大学発ベンチャー企業等に係る学生の雇用)
【確認事項: 教職員用】」に引き続き記載をお願いします。

・教員からの説明を受け、雇用についての学生本人の自由意志を確認するため、
「No.2-③: 利益相反に関する自己申告書(大学発ベンチャー企業等に係る学生の雇用)
【確認事項: 学生用】」を学生に手渡し、回答を依頼してください。

令和 年 月 日

所属・職名: _____

教員署名: _____

**No.2-②：利益相反に関する自己申告書(大学発ベンチャー企業等に係る学生の雇用)
【確認事項：教職員用】**

◆確認事項

本自己申告書は、大学発ベンチャー企業等に係る学生の雇用に関係した利益相反による疑念やトラブルの発生を未然に防止するためのものです。

ご自身の研究室の学生が、ご自身が関与する大学発ベンチャー企業等との間に雇用関係が生じる場合、教員は学生に対して以下の内容について説明と確認を行った上で、本用紙に署名して提出してください。

なお、「学業のテーマ」や「当該企業等での業務内容」が学生によって異なる場合、学生毎に本用紙の作成をお願いします。

1. ご自身が関与する大学発ベンチャー企業等と雇用関係にある学生の氏名等を記載してください。

研究科(専攻)・学年:

学生氏名:

2. 上記1に記載した学生に対して、本自己申告書 No.2-②を提示の上、実際の状況に即して以下①及び②について具体的に説明してください:

- ① 大学発ベンチャー企業等におけるご自身の役割及び個人的利益(No.2-①参照)の開示及びその内容の説明
- ② ご自身が関与する大学発ベンチャーで雇用されることの学生にとっての教育・研究上の意義について、以下 i)～iii)の重要事項における識別／区別等を含めた説明
 - i) 「教員の立場」と「当該企業等での自己の立場」について
 - ii) 「学生の立場」と「当該企業等での従業員としての学生個人の立場」について
 - iii) 「学業のテーマ」と「当該企業等での業務内容」について

＜参考例＞

以下は、あくまで説明の一例です。

実際の状況に即した説明に書き換え、文書提示の上、学生に説明してください。

【①の例】

私はベンチャー企業A社において、出資者であり、技術顧問の役割を担っている。出資によりベンチャー企業A社の経営権の10%を持っており、それに応じた配当金や将来的なキャピタルゲインを得る可能性がある。また技術顧問では技術的アドバイスに対して年間〇〇〇円の報酬を得ている。

【②の例】

大学で基礎研究、企業でその研究成果の実用化を展開し、基礎研究から実用化の一連の研究開発の知識・経験を習得することが学生にとってなぜ／どのように有益であるかを説明:

(この大学発ベンチャー企業で働くことが学生にとってなぜ／どのように有益であるのかを具体的に説明)

さらには、このような雇用関係において生じやすい疑念やトラブルを未然に防止するために i)～iii)の識別／区別等について説明:

(想定される疑念、トラブル等とともに、その予防措置又は是正措置等について具体的に説明)

ご署名の本用紙を含めた No.1 及び No.2-①と②、ならびに学生から提出された No.2-③封書を一緒に部局担当者へご提出ください。

令和 年 月 日

所属・職名:

教員署名:

No.2-③：利益相反に関する自己申告書(大学発ベンチャー企業等に係る学生の雇用)
【確認事項:学生用】

No.2-②の説明文をそのまま COPY & PASTE / 転記し、
学生に手渡してください

◆確認事項

本自己申告書は、大学発ベンチャー企業等に係る学生の雇用に関係した利益相反による疑念やトラブルの発生を未然に防止するため、自己の自由意志に基づき大学発ベンチャー企業等の業務に学生が従事することを確認するものです。

自身が雇用される大学発ベンチャー企業等に関与する教員から、以下の内容について説明を受けた上で1～3に記載、署名後に封書とし、割り印をした上で本用紙を手渡した教員に提出してください。

1. 自身が雇用関係にある大学発ベンチャー企業等の名称及びそれについて説明を受けた教員の氏名を記載してください。

大学発ベンチャー企業等の名称: _____

説明した教員の氏名: _____

2. 教員から受けた説明及び雇用に関する学生本人の意思確認（該当する場合、□に✓してください。）

上記に記載した教員から以下の①、②の説明を受け、理解しました。

①大学発ベンチャー企業等における当該教員の役割及び個人的利益の開示及び説明

②当該教員が関与する大学発ベンチャーで雇用されることの学生にとっての教育・研究上の意義について、以下の i)～iii)における識別／区別等を含めた説明

i)「教員の立場」と「当該企業等での企業人としての教員個人の立場」について

ii)「学生の立場」と「当該企業等での自己の立場」について

iii)「学業のテーマ」と「当該企業等での業務内容」について

自己の自由意思に基づき、上記に記載の大学発ベンチャー企業等の業務に従事する（従事している）ことについて確認を受けました。

3. その他に意見などありましたら以下の欄に記載してください。

<自由記載欄>

必要に応じて文書を添付してください

署名後、封書とし、割り印をした上で、本用紙を手渡された教員に提出してください。

令和 年 月 日

研究科(専攻)・学年: _____ 学生署名: _____